

# 一般質問

## 秩父産木材普及について

公明党 大久保 進

**問** 秩父産木材を使った木造住宅に補助金制度はできないか。

**答** 秩父産木材を利用した木造住宅の補助は、利用促進にもつながるものと考えます。秩父市独自の支援体制について現在検討中である。

**問** 体験宿泊のできる木造住宅の建設は。

**答** 体験宿泊は、秩父産木材利用エコハウスの普及に大きな期待ができると思われるので、エコタウン構想の中で検討していく。

**●市民の健康増進施策について**

**問** 秩父市が生涯スポーツと推進しているペタンクの大会の誘致、市内全域の啓発活動を。

**答** 8月に行われた関東北信越大会みたいな大きな大会は地域活性化にもつながり、ペタンク愛好者の増加にもつながると確信している。ペタンク連盟と協議を行い、関東・東日本・全日本クラスの大회를誘致していく。

**問** ウォーキング手帳の発行はできるか。

**答** ウォーキングは運動不足の解消など、有酸素運動の1つとして、

最も手軽にできるスポーツである。現在、市では手帳・カード等は発行していないが、今後、カードを試作し、希望する市民の方々に配布を行うなどを協議し取り組みを始めていく。

**●市報に捨てネコ・犬等の禁止罰則の広報を**

**問** 禁止・罰則について市報の欄外に継続的に掲載ができないか。

**答** できるだけ頻繁に、スペースを設け広報していく。



ペタンクの練習風景

◎小水力発電について

## 市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 斎藤 捷栄

**●聖地公園の管理運営について**

**問** 共同納骨堂についての考えは。

**答** 施設の老朽化や社会環境の変化に対応した事業内容の見直しが必要であることから、中長期的視点に立つて検討を進める。

**問** 芝生墓地の防火対策は。

**答** 消火栓、防火水槽等対策の調査・研究を進め、特に特別支援学校側の芝生墓地については、早期に対処したいと考えている。

**●食品放射能測定について**

**問** 放射能・放射線から子どもを守ることは、全庁横断的取り組みとして進めるべきだ。とりわけ、子どもの内部被ばくを防ぐ手立てを講じることが急がれている。「地方消費者行政活性化交付金」を活用した食品放射能測定器購入は可能か。

**答** 指摘の交付金を活用しての購入は出来ないが、測定器購入については、今後前向きに検討する。

**●市役所本庁舎建設問題について**

**問** 「大破」とされた本庁舎被災

度判定調査内容の周知・理解は、具体的にどう図っていくのか。

**答** 市報やホームページに公開するとともに閲覧希望者にはいつでも調査内容を公開する。また希望者には本庁舎内も案内するなどして「大破」の実態の理解を求めている。

**問** 市長はこの間、各地で「現地に本庁舎と市民会館を合築で建替える」と、あたかも既定事実であるかのような発言を繰り返しているが、前のめり発言ではないか。

**答** これまでの経過を説明し、市民の声を聞きながら決定していくということを繰り返す中での発言で、指摘にはあたらないと考える。



被災度判定で「大破」と診断された本庁舎

# 一般質問

## 学童保育室の意義と課題

金崎 昌之

**問** 「猛暑の中、学童保育室でエアコンの使用が制限され、子どもたちの健康が心配」と聞いた。小学校区ごとに学童保育室の整備が図られた今、改めて学童保育室の意義とあり方・現状と課題を問う。

**答** 学童保育室は、仕事と子育ての両立支援・児童の健全育成として重要な役割を担う。4年生以上の待機児童数は22人。エアコンの使用については、数値による制限は行わず、児童の健康面を最優先するよう指導している。今後も、より一層現場の声に耳をかたむけ、学童保育室の充実に努める。

**問** 旧東高校施設を見て、比較的新しい「記念館」や「格技場」また「体育館」は、それ程手を加えずに利用可能ととれた。今、市役所機能の荒川総合支所等への再配置や、伝承館から文化活動や生涯学習の場が失われたことで市民に大変不便をかけている中、当面の策として、かかる費用をできるだけ抑えながら旧東高校施設の一部を活用することが求められている。

**答** 旧東高校を所管する財務部としては、現状(グラウンドのみ利用)のまま管理を続けていく方向

**問** 地域活性化「メガ合コン」の開催

**答** 自治体に関わることで安心感を生み、各地で自治体が後援する地域活性化大規模婚活イベント「街コン」や「メガ合コン」が盛況。秩父市として取り組む考えは。

**答** 開催できるよう、商工会議所や青年会議所、飲食店組合などに提案していきたい。



活用が待たれる旧東高施設

### 旧県立秩父東高校施設の 利活用

## 固定資産税について

新風 上林 富夫

**問** 過徴収による税の返還が全国で発生しているが市の担当職員の研究等はどのようにしているか。

**答** 県や県税事務所、システム研究センターの研究に参加している。

**問** 滞納者の現状は。

**答** 平成21年度1217人、平成22年度1202人、今年度1185人の状況である。

**問** 地方税法に、毎年現地調査すること、とあるが実施しているか。

**答** 全部はできていない状況にあるが、ご理解いただきたい。

**問** 空き家対策について

**問** 空き家の調査をしているか。

**答** 市では今まで実態調査はしていないが、調査方法を検討し実態把握に努めたい。平成20年の国の調査では市の空き家は5780戸。

**問** 防犯、防災などの面から管理条例制定を強く望むがどうか。

**答** 放置空き家が少なからず存在すると思われる。今後、さらに核家族化などにより空き家増加が予想されるため各課と連携し条例制定を検討したい。

### 国保税について

**問** 年収250万、家族4人、子ども2人、30才代の国保税の金額はいくらか。また、県で何番目か。

**答** 固定資産税5万円の場合の金額は、27万6500円で、平均は12万5千円、県内では低い方から5番目となっている。

**問** 滞納による6か月の保険証の交付件数は何世帯くらいか。

**答** 11月末の交付は256世帯。

**問** 国保税の滞納はどのくらいか。

**答** 今年度の滞納繰越分の調定額は約7億5千万円となっている。

**地方税法第408条(固定資産の实地調査)**  
市町村長は固定資産税評価員又は固定資産評価補助員に当該市町村所在の固定資産の状況を毎年少なくとも一回は实地に調査しなければならない。

地方税法の規定

# 一般質問

## 秩父市防災訓練について

市民クラブ 荒船 功

**問** 9月4日に秩父市防災訓練が実施されたが、訓練の目的、実施状況、訓練の結果と講評は。

**答** 従来の防災訓練は、行政、消防、警察、公共事業者間の連携を内容とした「行政主導型」の防災訓練だったが、災害時における自助、共助の重要性と多くの市民の参加をさせていただいたため、平成18年度から各町会および自主防災・防犯組織が中心となり、地元消防団等の協力により「市民による手作りの防災訓練」として、市内各地域で実施している。

市としては、地震災害と土砂災害を想定して、訓練の実施計画書の提出をお願いしている。

訓練内容は、その地域の实情に応じて、町会内の緊急連絡網等を活用した情報伝達、避難場所まで安全に避難するための訓練、消火器や消火栓を使った初期消火訓練、応急処置、救出訓練、炊出し訓練、土のう積み等の水防訓練、危険箇所等の点検等、地域の实情に応じた内容となっている。

計画を立てる際には、地元消防団に相談、対応していただけるよう依頼をしている。

防災訓練実施後、訓練実績報告書の提出をお願いしている。今年度は、防災訓練の日が台風12号の影響で実施を見合せた町会もあったが、63町会5千6百人の市民が参加した。実情報告書を参考に防災への市民ニーズを検証する。



防災訓練の様子

- ◎ 市役所本庁舎、市民会館建替え
- ◎ 行財政改革の推進
- ◎ 秩父市エコタウン構想推進

## 平成24年度市民クラブ政策提言

市民クラブ 浅海 忠

**問** 広域行政の推進。火葬場の早期築は、どうか。

**答** 現在、秩父広域市町村圏組合では聖地公園グラウンドを第1候補として建設に向けて準備を進めている。これまでの経過は昨年8月に現在地隣接の市営馬場での建て替えを断念し広域組合で用地選定作業を進め13か所の候補地を選定し、その中から聖地公園グラウンドを第1候補地として平成23年2月の秩父広域組合理事会で決定し、秩父広域組合協議会全員協議会で説明を行った。隣接する埼玉県立秩父特別支援学校や隣接する各町会会長や横瀬町区長に報告した。

7月に中宮地町会長から「斎場建設反対の申し入れ書」が提出され、9月に「秩父手をつなぐ育成会」から「学校に隣接して火葬場を建設することに疑問を呈するお願い」が提出された。7月下旬から9月上旬にかけて、上宮地町と中宮地町を除く町会、行政区の役員等に対して、候補地選定の経緯と今後の進め方について説明をした。現在は、「火葬場整備基本計画」の策定とあわせ、説明資料の作成を進めて準備ができた第、特別支

援学校および、関係町会・行政区の役員に対して説明会を開催し理解を求めていく。火葬場の早期建設は市民ニーズや関心度が非常に高いので、秩父広域組合と協力し正確かつ継続的な情報提供を行うため、より一層積極的な広報活動を行うよう強く要請していく。



現在の火葬場



新火葬場建設予定地の聖地公園グラウンド

# 一般質問

## 「市民クラブ政策提言」 「吉田地区」より

市民クラブ 竹内 勝利

**問** 吉田幹線8号線（一本杉峠）の今後の計画について。

**答** 今年8月に、期成同盟会総会を開催し、秩父市と小鹿野町との協議を行った。西関東連絡道、また、小鹿野中央病院へ通じる重要な道路として、地域住民からも期待が高いと考えている。今後、路線の再調査を進めていきたいと考えている。

**問** 森林管理道の整備について。

**答** 森林管理道白岩線・女形線・小川線および開設中の栗野山線などが、路面の傷みが酷いと把握している。補助金や辺地債等、有利な財源の確保を図り、未舗装路線の計画的な整備に努めていきたいと考えている。栗野山線開設後の阿熊室久保地区への延伸計画では、国の新たな森林政策の基本方針を模索中で、森林受給率50%を目指し、今後10年間を目処に低コストで崩れにくい作業道を主体とした整備を検討していく。

**問** 吉田保育所の改築について。

**答** 床・ひさしの傷みについて早急な対応をしていただきたい。

**問** 保育への影響を考慮し、指摘場所以外にも修繕が必要と思われる

る箇所については、早急な補修を行い対応したい。

**問** 龍勢祭対策の充実について。

**答** 龍勢祭対策の充実については、早急な補修を行い対応したい。

**問** 龍勢祭対策の充実について。仮設トイレ、最寄り駅からの直通バス、シャトルバスの充実、駐車場の確保、一般席の検討等。

**答** 土地所有者、保存会等の関係機関と協議を行い、充実と拡大を図っていく。



吉田幹線8号線 一本杉峠

## ペタンク日本一のまちを目指せ

市民クラブ 江田 治雄

**問** 各地に活用されていない、スポーツ広場が目立つ。そこで現在ある広場を、最近盛んになってきたペタンクで有効活用してはどうか。市民の健康増進や親睦、さらには大きな大会を誘致できれば観光振興につながると思う。「ペタンク日本一のまち秩父」を目指そう。市の考えをうかがう。

**答** ペタンク連盟の努力により、県内随一のペタンク人口になってきた。しかし、町会により、未だ市民大会にも参加されない町会がある。さらに普及に努めたい。8月に、荒川総合グラウンドにおいて、関東北信越選手権大会が開催され、1都9県から240人の参加者があり、その内120人が宿泊を伴う参加であった。大会当日は、秩父鉄道のSLも警笛を鳴らし参加者を激励した。参加者に感動を与え、秩父の良いイメージアップができた。その他、秩父市長杯・市民ペタンク大会等で多くの市民が参加するスポーツに育ってきた。

ペタンクは少しのスペースで、子供から高齢者まで幅広い市民が参加できる競技で、まさに生涯ス

ポーツである。今後、ペタンク日本一を目指し振興していきたい。



市民ペタンク大会の1コマ

- ◎医療・福祉行政のさらなる推進
- ◎有害鳥獣問題（カラスの被害）
- ◎職員の仕事について
- ◎秩父市立病院の運営について